

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島・森下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	2 人	4 人	1 人	8 人

前回の改善計画	初回面談等を複数の職員で関わることで、情報の量 (ご家族、本人、関係機関)、とらえ方や判断をしていきたい。必要に応じ、事業所会議だけでなくミーティングを開く。
前回の改善計画に対する取組み結果	初回面談は主任、管理者でできたケースもあった。やはり家族、本院との関係で、その後の支援に対し多面的な視点が持てた。ただし、緊急の訪問や利用者との関係、日程調整で複数対応が難しいケースもあった。十分ではないが、4 役会議 (管理者、主任、ケアマネ、看護師) を開くことができ、今の課題に対して、相談することができて良かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	2	3	2	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	6	1	0	7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	6	0	0	7
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	6	1	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所会議、モニタリング会議で旧友している。本人、家族との関係づくり、お試し、初回時の配慮はできていると思う。 ・本人、ご家族が何に困っているのか？必要としているのか？という視点で接している。 ・毎回ミーティングを通して、情報共有している。家族、本人の困りごとの支援ができています。 ・本人、家族が不安にならないように、送迎時等、声掛けをしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日程調整の難しさと、日常の煩雑さに追われ、4 役会議の位置づけの弱さがある。 ・家族、本人のニーズがつかみきれない時、体制が取れず、対応が不十分ではないかと思う時がある。 ・家族が本当にしてほしい事が出来ていない。理由⇒職員体制の関係で出来ていないのでは？ ・単発利用、緊急ショート等の利用時の情報が不足する。共有できない。 ・初回面談等多職種でかかわることができていない。 ・本人、家族から直接聞いていないから、必要としていることがよく伝わってこない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・情報が少ないのでは？情報量の問題？伝達の問題？どうしたら情報共不足の問題解決は？面談に行くまでにどういう情報があると支援がしやすいのかを職員間でまとめてから訪問するのはどうか？お試し前日の夕方くらいにその人の全体像がつかめるような伝達があればよいのでは？電子媒体で情報を流すのはあまり良くない為口頭での伝達が良いのでは？口頭でも紙媒体でも伝達をして、これからは口頭でもっと伝えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	5 人	人	6 人

前回の改善計画	難しく課題があるケースは情報を共有し、職員みんなで考え解決していく。(ケース検討などで)
前回の改善計画に対する取組み結果	この一年はコロナのクラスター、看取り支援があり、職員みんなで考える時間を持つことができ、反省の中から学ぶことも多かったと感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	4		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	4		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5			6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	4		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「本人のしたい～」が分かり、日々の中で意識して関われていると思うが、まだまだ不十分さを感じている。 ・訪問、受診後は得た本人の情報 (本人の言動) や気づき等可能な範囲で伝えるよう、心掛けている。 看取りの方等への対応はメモや夜勤者へ直接伝えるようにしている。職員に意見を聞くようにしている。 ・困難ケースも皆で検討している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人理解の不十分さ・認知症等により本人の目標「～したい」が見えにくい。危険を伴う等現実的ではない。 利用者さんとのコミュニケーション不足で心の声を十分に拾い上げられていない。プラン、目標を念頭にモニタリングできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者支援の状況、課題をもっと共有できればために、必要に応じて課題総括表を作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
3. 日常生活の支援	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	1 人	6 人	人	8 人

前回の改善計画	アセスメント（心身、日常生活、生活歴の状況）を状況の変化があった時に作成し、職員で共有する。複数の職員がご本人の自宅に訪問する機会を作る。（ご本人、ご家族の意向に配慮しながら）
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のモニタリング会議やライン、口頭を通して、十分でないが共有できていると思う。日常的に利用者の変化があり、気づいた時点で対応できていると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		2	5		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	6	1		8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		3	5		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	5	2		8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		5	3		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今回、訪問支援が増え、事業所内だけでなく、在宅支援を複数の支援者が対応することができた。そのことで、365 日 24 時間の生活を知る機会になり、そのひと理解が深まる機会になったと思う。 ・本人の心身状況に合わせた介護。変化に合わせ解決方法を伝えている。複数の職員が関わった。 ・上司から適宜な情報があり、きめ細やかな介護ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・体調の変化に気づいてもその都度共有は出来ていない。（支援につなげる事ができていない？） ・共有から支援まで時間がかかることがある。心の声を拾うことが不十分 ・体調変化に気づいても共有できていない。 ④ は全体共有できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・なるべく早く、わかりやすいアセスメント（生活歴他）を作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画	職員が地域の人とまずは顔が見える関係（挨拶等）づくりを進める。地域の資源（コンビニ、商店、民生委員、町内会役員、近所の知り合い等、その方と繋がれる場所、人など）を探り関係を作っていく。その為には、現在職員がつながっている関わりを共有し、広げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	不十分なところもあるが、訪問時等の機会等を通じ、必要に応じ、民生委員、知り合い、コンビニ、ご近所、郵便局等とつながり支援できている。苦情を通して、地域の人とつながる機会になったケースもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	1		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5		3		8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4		4	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	2	3	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出勤時等、ご近所の方への挨拶は心掛けている。話をする時、若いころの話等で生活歴、習慣等の情報を得る。家族中心の看取りの在り方について模索中。元々本人と付き合いのあった地域や家族とのかかわり、連携。便りを地域に配布している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の活動への参加・本人の過ごし方。利用者さんを取り巻く社会資源について自分からの関わり、理解不足どれも不十分。親族や地域とのかかわりが乏しかった利用者の場合に、民生委員、市域資源の新たな関係を築くのは難しいと感じる。地域資源の関りが一部の職員に偏っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・生活歴を全員分出し、利用者さんの事を知ってもらう。 ・日々の個人記録にも生活歴に関する事も記入する。昔の事を話していた事も記入することようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	4 人	1 人	8 人

前回の改善計画	職員が地域の人とまずは顔が見える関係（挨拶等）づくりを進める。地域の資源（コンビニ、商店、民生委員、町内会役員、近所の知り合い等、その方と繋がれる場所、人など）を探り関係を作っていく。その為には、現在職員がつながっている関わりを共有し、広げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	4		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		5	2		7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	3	4		8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7		1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
基本的には、調整等しながら、利用者の状況にあわせ、柔軟な対応ができていると思う。制度改正により、ショート利用の受け入れをすることで、幅広い利用者支援になっている。本人や家族の状況に応じた柔軟な支援。利用者さんの体調や精神状態の把握、それに合わせた支援。 ・訪問で初めた利用者、その後の通いとその後の訪問と適切に提供されている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
不可抗力だが、コロナ感染の影響で、支援ができない日があった。こちらが適切と考える支援と本人の整合性がないから、本人のニーズに応じた適切な支援ができているか疑問。日々の変化等共有しきれていない。地域資源を全般的に活用できていない。活用しようとする意識が低い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所側の支援と本人家族が望む支援のすり合わせが必要な場合は担当学会議開催、職員で検討等する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
6. 連携・協働	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	4 人	1 人	8 人

前回の改善計画	地域との関わりを事業所として深めるため、複数の職員が参加できる体制をつくる。参加した職員は他の職員に内容を伝え、共有する機会を今まで以上につくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	十分ではないが、出会いの会には複数職員が参加することができた。コロナ渦で取組等少なく思うように参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	0	2	5	0	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	0	4	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	3	0	5	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	0	0	1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当事者の会に複数の職員が参加でき、会の様子を伝えることができた。 回数は減ったが、認知症専門部会、利用者とともにサポーターのフォローアップ研修に参加し、情報共有ができた。 主治医、訪問看護、福祉用具等他事業所へ、触接、間接的に報告。情報交換、伝達を行っているが、会議という形は少ない。サービス機関との連携。運営推進会議の参加率が高く、よく行われている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ感染状況のなかで、町南まつり、介護者の飲み会ができなかった。就業時間とコロナ対策のため地域への参加。運営についてはわからない。担当者会議が見えるかしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域との関わりを事業所として深めるため、複数の職員が参加できる体制をつくる。参加した職員は他の職員に内容を伝え、共有する機会を今まで以上につくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
7. 運営	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	3 人	2 人	8 人

前回の改善計画	地域行事 (防災訓練、開館まつり、ごみ拾い等) に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		3	4		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	4		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	4		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	4		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
十便ではないが事業所会議の中で、話をする機会を設けている。自分の意見を言える風通しの良い職場だと思う。聞いてもらえる職場だと思う。地域のごみ拾い、焼き芋会に利用者と参加できた。地域のお茶会が開催でき、新しい人も参加できた。おもちゃの会もできた。家族からの意見はその都度聞いて対応している。町内会の掲示板を要請を受けてつけることになった。月初めの防災訓練に可能な限り参加し、発言している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年で 3 年間コロナ渦でまちなみ祭りができなかった。地域活動に参加できていない。利用者、家族、介護者からの意見等が見えるかできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・事業所内で職員、地域向けにサポーター養成講座を開く。(コロナの関係があるが)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	4 人	2 人	7 人

前回の改善計画	文書での報告だけでなく、事業所会議でヒヤリハット（事故に至らないひや！としたこと）、事故報告書の検討を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事故報告、ヒヤリハット検討が十分にできなかった。 ヒヤリハットの報告が不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		3	1	4	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	1	4	8
③	地域連絡会に参加していますか				8	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	4		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネ更新研修、実践者研修を受講した。個別動画研修を実施し、ほぼ実施できた。交代で事業所会議内で動画研修の伝達研修を実施した。マニュアル（個人情報保護、パワハラ等）のチェックノートで学習した。転倒事故について、当日出勤者に伝え、対応を検討した。（見守り強化、靴の検討） コロナ等含めリスクマネジメントができていると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
意見が出せていない。 ・事故報告書等は、目を通すだけになっている時がある。ヒヤリハットはその時に思ってもそのまま、伝え忘れてしまうことが多く、見過ごしがち。外部研修にあまり参加できていない。教育プランが不十分	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・個別の動画研修を毎年実施する。・社会福祉協議会の研修にも参加する。(ZOOM) ・ヒヤリハット検討を会議の議題に載せる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2022 年 12 月 10 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
9. 人権・プライバシー	メンバー	太田・浅井・河村・富田・矢野・服部・西野・寺島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	4 人	3 人	8 人

前回の改善計画	
個人情報保護のため伝達の方法を検討したい。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
検討しきれていない。職員でグループラインをしているが、情報共有のために、個人情報も伝えているが、情報共有との関係で難しさがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない		7	1		8
②	虐待は行われていない	4	4			8
③	プライバシーが守られている	0	7	1		8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4			7
⑤	適正な個人情報の管理ができている			1	7	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待はしていない。利用者さんの後見人制度申請した人がいた。 できる範囲での努力はしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
適切な方法がないため、記録や写真を共有のラインに乗せてしまうことがある（既読後削除を依頼しているが）情報共有と情報の管理が難しいため、できていない。スピーチロックをしてしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
グーグルワークスペースの検討をする。 情報共有と個人情報の保護の仕方を検討する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 名北福祉会	代表者	黒川富子	法人・ 事業所 の特徴	法人理念として、地域でこどもからお年寄りまでが、安心して住み続けられる街づくりを進めている。事業所は住宅街にあり、高齢者世帯も多い地域で、日常的にご近所さんとの関りがあり、利用者さんも歩いて送迎する方が複数名いる。日常生活の中で役割づくりを大切にしている。
事業所名	めいほく町南の家	管理者	太田輝美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	人	1人	1人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議に複数の職員が参加し、事業所情報を伝えていく。	毎回ではないが、複数名の職員が参加できた。	全員ができている項目が多いのは取り組んだことがわかった。利用者に対する気持ちが伝わってくる。検討が多いので、標準化、差別化、単純化するとよい。	複数の職員が運営推進会議に参加し、事業所内容を伝えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所名がわかり易い様に看板をつける。	看板は付けられていない。	建物が2階にあり、入りやすいかどうかの評価はむずかしい。車の乗降、注意して、安心をモットーに道路の通行を妨げないようにするとよい。	車の昇降時、道路の通行を妨げないようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の防災訓練、ごみ拾い等に複数の職員が参加できるようにしていく。	地域の防災訓練は今年は開かれなかった。ごみ拾いは、利用者さんと一緒に参加できた。	職員は挨拶をしていると思う。告知不足、アクションを起こす。地域のことをいつも意識していないといけないと思う。近くを歩いていたらごみを拾う。駐車場の車の止め方も気を付けた方がよい。	地域の防災訓練、ごみ拾い等に複数の職員が参加できるようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの収束後は出かける機会を作りたい。保育園の訪問、地域のごみ拾いを利用者さんとしていきたい。	コロナの関係で保育園の訪問、地域のごみ拾いもできなかった。	外出する時は、寒いので温かい恰好がよいと思う。散歩等は意識的に参加している。地域のごみ拾いには参加できたが、独自ではできなかった。	コロナ終息後は、保育園や地域の取り組みにも参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員にまつりの実行委員として参加してもらう人を増やす。	今年はコロナで祭りが開かれず、実行委員として参加してもらえなかった。	祭りが開かれず、実行委員として参加してもらえなかった。会議のための会議ではなく、集合、考え方を一つにする。観察、問題点を発見する。分析、判断が必要。	会議で分かりやすく、事業所説明をし、情報共有、意見が出しやすくする。
F. 事業所の防災・災害対策	消防署を交えた防災訓練を運営推進員も一緒に行きたい。	コロナの影響で実施できなかった。	事業所としては年6回程度訓練を実施できた。	消防署を交えた防災訓練を運営推進員も一緒に行きたい。